

NPO 法人 京都コミュニティ放送
第 154 回 番組審議会

開催日時：2023 年 2 月 16 日（木）10：30～11：30
会 場：ラジオカフェ事務所、Zoom 併用
委 員：中村正、岡田真彰、岡本卓也、福井秀彦
欠 席：岡田芳宏、隅井美沙子、ジェフ・バーグランド
事 務 局：藤本香

ゲスト：「耳で聴く京ことばかるた」<https://radiocafe.jp/20220708/>
毎月第 2・4 金曜日 22:00-22:03
制作者：京ことばの会・石踊昌一

■番組審議：番組趣旨の説明

2022 年度の総会で、「せっかく京都三条ラジオカフェなので、もっと京ことばを聞きたい」という声を受けてはじまった。改編を重ね、現在は語学講座番組のような体裁で、京ことばかるたをもとにした番組となっている。京ことばの会は 19 年目になる。かるたは、学校でも活用してもらえるように・京ことばを話せる人がいなくても学べるようにと CD 化も行った。

■2023 年 3 月 10 日放送回を聴いて審議に入った

- ・石踊さんが何者か、を冒頭に入れても良いのでは。音楽が長いともったいない。
→できるだけ京ことばの割合を増やしたいため、石踊の紹介は時間があれば最後に入れる・音楽はアキレコとして使っている。
- ・かるたをどこで買えるのかの紹介もあっていいのでは。
→回によって入れる入れないの判断をしている。30 秒はかかるので、毎回入れて番組全体がかるたの CM 番組のように聴こえることは避けたい。
- ・京ことばを聞くと背筋が伸びる。ピリッとした番組だと感じたので、もう少し柔らかい回があってもよいのでは。
→聞き手が標準語だからかもしれない。非関西出身者であり、京ことばとの対比を考えあえてそうしている。
- 京ことばを喋る側としても、標準語で聞かれることで京ことばで話しやすい。
- ・三重県伊勢市出身で、イントネーションは異なるが「ほたえる」「わやくちゃ」を親が使っていた。そういう者が聴いて懐かしい感情を呼び起こす作用もある番組だと感じた。講座的ということで、ピリッとするのはいいこと。威厳のあるパーソナリティが、優しい響きの京ことばを学ぼうとしている、という二人のバランスが良い。
- ・京ことばのゆったりとして、独特の間合い(空白)が緊張感を生むのかもしれない。消した場合はうすく BGM を流すとよいかもかもしれない。

この審議会の議事録は 2023 年 2 月 20 日から事務所で閲覧できるようにした。

この審議会の 2023 年 2 月 20 日から WEB サイトで公開した。